

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標例（高等学校学習指導要領における外国語科及び外国語科の各科目の目標に基づく学年ごとの設定例）

資料3別紙②

及び年間指導計画・単元計画への反映例

- ※ 観点別学習状況の評価における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」及び「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点うち、「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標は「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」について設定する。ただし、学習評価は4つの観点を総合して行う。
- ※ 本学習到達目標例は技能別に示してあるが、授業においては、4技能の総合的な指導を通して、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成することに留意する。

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

「外国語表現の能力」

「外国語理解の能力」

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（分割2単位）／主な教材：左記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|--|--|---|---|------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。 ・発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。 ・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。 | <u>コミュ英Ⅲ</u> ・プレゼンテーション ・ディベート <u>英語表現Ⅱ</u> ・ディベート ・プレゼンテーション ・インタビューテスト | <ul style="list-style-type: none"> ・主題を決め、様々な種類の文章を書くことができる。 ・文章の構成を考えながら書くことができる。 ・図表との関連を考えながら書くことができる。 ・書いた内容を読み返して、推敲することができる。 | <u>コミュ英Ⅲ</u> ・ライティングテスト ・定期考査 <u>英語表現Ⅱ</u> ・エッセーライティング ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 | <u>コミュ英Ⅲ</u> ・リスニングテスト ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを速読して、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 | <u>コミュ英Ⅲ</u> ・リーディングテスト ・定期考査 |

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（分割2単位）／主な教材：左記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|--|---|--|--|---|------------------------------------|--|--|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 | <u>コミュ英Ⅱ</u> ・プレゼンテーション ・ディスカッション <u>英語表現Ⅱ</u> ・プレゼンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。 ・論点や根拠などを明確にしながらかくことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 | <u>コミュ英Ⅱ</u> ・ライティングテスト ・定期考査 <u>英語表現Ⅱ</u> ・エッセーライティング | <ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開など | <u>コミュ英Ⅱ</u> ・リスニングテスト ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明、評論、物語、随筆などを速読して、概要をとらえることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などを精読して、要点や詳細をとらえることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などを、聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。 | <u>コミュ英Ⅱ</u> ・リーディングテスト ・音読テスト ・暗唱テスト |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------------|------|------------|---|--|---|-------|
| に効果的に伝わるように話すことができる。 ・与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。 | ーション ・ディスカッション ・インタビューテスト | できる。 | グ ・定期考査 | どに注意しながら聞くことができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。 | | ・文章の構成を考えながら読むことができる。 ・図表との関連を考えながら読むことができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。 | ・定期考査 |
|--|---------------------------------|------|------------|---|--|---|-------|



【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（3単位）及び「英語表現Ⅰ」（2単位）／主な教材：左記科目の教科書，教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|--|--|--|--|-----------------------------|--|--|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| <ul style="list-style-type: none"> 聞いたことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 事実と意見などを区別して話すことができる。 与えられた話題について、即興で話すことができる。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。 | コミュ英Ⅰ ・インタビューテスト ・スピーチ 英語表現Ⅰ ・インタビューテスト ・スピーチ | <ul style="list-style-type: none"> 聞いたことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 事実と意見などを区別して書くことができる。 | コミュ英Ⅰ ・ライティングテスト ・定期考査 英語表現Ⅰ ・ライティングテスト ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 事実と意見などを区別して聞くことができる。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 | コミュ英Ⅰ ・リスニングテスト ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> 説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 事実と意見などを区別して読むことができる。 説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 | コミュ英Ⅰ ・リーディングテスト ・音読テスト ・定期考査 |

年間指導計画への反映

| [学年・学科] 第1学年 ○○科 [科目(単位数)] 「コミュニケーション英語Ⅰ」(3単位) [教科書] ○○○○○○○○ | | | | | | |
|---|---|---|------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 単元(配当時間) | 題材内容 | 題材利用の視点 | 単元の目標 | 単元の評価規準 | 主な学習活動 | 評価方法 |
| Lesson ○ (8時間) | 海外に渡って成功を収めた日本人が、どのようにして自分の夢を見つけ、それを実現していったかについて、インタビューを通して紹介 | 高校生にとって関心の高い将来の夢や職業選択について、読んで得た情報を口頭で要約するとともに、自分自身の考えやその理由を | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| 「外国語表現の能力」 | | | | | | |

| | | | | |
|--|---|---|--|---|
| 介する内容。 口頭で伝える能力を育成する。 | ・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話す。 | ・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話すことができる。 | ・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。 | ・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。 (テスト時は、1クラスに教員2人を配置する) |
| | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | (本単元では設定しない) | (本単元では評価しない) | ・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 | |
| | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| ・自分の考えや気持ちを伝える表現 (hope [that] S' + V ~など) の使い方を理解する。 | ・自分の考えや気持ちを伝える表現 (hope [that] S' + V ~など) の使い方を理解している。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 | |

単元計画への反映

| | | | | | |
|---------|---|---|--|-------|-----------|
| 単元 | Lesson ○ | | | | |
| 配当時間 | 8時間 | | | | |
| 単元の目標 | 1. ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。 2. 人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 3. 読んだことに基づき、自分の将来の夢について話す。 4. 自分の考えや気持ちを伝える表現 (hope [that] S' + V ~など) の使い方を理解する。 | | | | |
| 単元の評価規準 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | ① ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | | | |
| | 「外国語表現の能力」 | ② 人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 | | | |
| | 「外国語理解の能力」 | ③ 読んだことに基づき、自分の将来の夢について話すことができる。 (本単元では評価しない) | | | |
| | 「言語や文化についての知識・理解」 | ④ 自分の考えや気持ちを伝える表現 (hope [that] S' + V ~など) の使い方を理解している。 | | | |
| 時間 | ねらい | 学習活動 | | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | 本文全体を速読し、キーワードなどを手がかりにして概要をとらえる。 | 1. 教師のオーラル・イントロダクションを聞いたり質問に答えたりするなどして、単元内容についての背景となる知識(スキーマ)を高める。 2. ワークシートに示された概要把握のための質問を見てから本文全体を読み、必要な情報についてメモをとる。 3. ペアでQ-Aを行い、内容を確認する。 | | | |
| 2~5 | 各セクション (§ 1~§ 4) の内容を口頭で要約するとともに、それに対する感想や意見を伝える。 | (第2時から第5時の各時に1セクションずつ扱うこととする。) 1. 教科書を閉じて本文の音声で2回程度聞き、話題や概要を把握する。 2. 必要に応じて、語、連語、慣用表現及び文構造について、意味や用法を確認する。 3. 本文を読んで、ワークシート上の Summary Chart (要約を書き込むフローチャート) を完成させる。 4. 教師の質問に答えながら、Summary Chart 上の記入事項を確認し、本文の内容理解を深める。 5. CD を聞きながら、音読やシャドーイングをする。 6. ペアになって、Summary Chart を見ながら、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のように、要約の方法を段階的に指導する。 | | 評価規準④ | 筆記テスト(後日) |

| | | | | | | | | | | |
|-----|--|---|--------------------|--|----|--|-----|--|----------------|---------------|
| | | <p>Step 1 (§ 1) : 与えられた質問に解答し、質問の英語と解答をつなぎ合わせて要約する。 Step 2 (§ 2) : 与えられた複数のキーワードを用いて要約する。 Step 3 (§ 3 及び § 4) : 自分で本文からキーワードを抜き出し、それを用いて要約する。</p> <p>7. 感想や意見を述べたり話を続けたりする際に必要な表現 (He's cool / great / fantastic など+because ~ や What do you think? など) を実際の場面で使えるように習熟する。</p> <p>8. ワークシートに、各セクションの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。</p> | 評価規準① | 活動の観察 ワークシート | | | | | | |
| 6 | 学習した語彙や文法事項等を活用して、本文を自分の言葉で要約したり自分の将来の夢について話したりする。 | <p>1. 教科書を閉じてセクションごとに本文の音声聞き、内容上のキーワードをメモする。 2. ペアになり、メモに基づいて、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のような手順で活動する。 § 1 の聞き取りとメモ → 生徒Aが要約 / § 2 の聞き取りとメモ → 生徒Bが要約 / § 3 の聞き取りとメモ → 生徒Aが要約 / § 4 の聞き取りとメモ → 生徒Bが要約 3. 本単元で学習したことなどを参考にしながら、自分の将来の夢、その理由及びそれを実現するために必要なことについて考え、それらを伝えるためのポイントを簡単にメモする。 4. ペアになり、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。</p> | 評価規準② 評価規準③ | インタビュー テスト (後日) インタビュー テスト (後日) | | | | | | |
| 7~8 | インタビューテスト | <table border="1"> <tr> <td>形式</td> <td>教師が個々の生徒へ質問をする。</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>1. 指定された3つのキーワードを用いて、本文全体の内容を口頭で要約する。 2. 自分の将来の夢について話す。</td> </tr> <tr> <td>留意点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> インタビューテストは、教室の近くに別の場所を設けて実施する。 テストを待っている生徒は、他教師の監督の下、本単元の内容に関連した別の英文を読むなどの課題に取り組みさせる。 評価の信頼性を確保するため、可能な限り、面接を録音(録画)しておく。 所要時間は生徒1人につき約2分とし、2時間連続のテスト時間帯を確保する。 </td> </tr> </table> | 形式 | 教師が個々の生徒へ質問をする。 | 内容 | 1. 指定された3つのキーワードを用いて、本文全体の内容を口頭で要約する。 2. 自分の将来の夢について話す。 | 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> インタビューテストは、教室の近くに別の場所を設けて実施する。 テストを待っている生徒は、他教師の監督の下、本単元の内容に関連した別の英文を読むなどの課題に取り組みさせる。 評価の信頼性を確保するため、可能な限り、面接を録音(録画)しておく。 所要時間は生徒1人につき約2分とし、2時間連続のテスト時間帯を確保する。 | 評価規準② 評価規準③ | インタビュー テスト |
| 形式 | 教師が個々の生徒へ質問をする。 | | | | | | | | | |
| 内容 | 1. 指定された3つのキーワードを用いて、本文全体の内容を口頭で要約する。 2. 自分の将来の夢について話す。 | | | | | | | | | |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> インタビューテストは、教室の近くに別の場所を設けて実施する。 テストを待っている生徒は、他教師の監督の下、本単元の内容に関連した別の英文を読むなどの課題に取り組みさせる。 評価の信頼性を確保するため、可能な限り、面接を録音(録画)しておく。 所要時間は生徒1人につき約2分とし、2時間連続のテスト時間帯を確保する。 | | | | | | | | | |
| 後日 | 筆記テスト(定期考査) | hope [that] S'+V' ~ について、場面を与えて適切な表現を書かせる問題を出題する。 | 評価規準④ | 筆記テスト | | | | | | |